



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.965 2015年2月9日

ARIBからのお知らせ

第129回電波利用懇話会開催のお知らせ
「Technology and Policy for Millimeterwave 5G and Backhaul」

現在、米国においては、ミリ波帯の移動通信システムでの利用について、米国連邦通信委員会（FCC）が調査告示（Notice of Inquiry）を出すなど、様々な議論が行われています。

今回の電波利用懇話会では、2月下旬に来日予定のFCCで長年無線施策担当者として勤務されたマイケル・マーカス博士に、ARIBの会員に対し、最近米国において注目を集めているミリ波”5G”システムと他の用途との周波数共用などのテーマに関し、「Technology and Policy for Millimeterwave 5G and Backhaul」と題して、次のような米国での議論の一端をご講演いただくことと致しました。

1980年代初頭から、一般的には1GHz以上の移動通信システムは実用的ではないと考えられてきたが、スマートフォンや新しい無線技術など、新しいアプリケーションやサービスを提供する通信容量の急速な需要増大により、100GHzまで利用可能なミリ波”5G”システムへの関心が高まっています。

このようなミリ波”5G”システムでは、高速、広帯域幅、低レイテンシを提供することができるが、基地局を相互接続するために大容量のバックホールシステムが必要となります。バックホールシステムは、構築のための費用対効果の違いにより、光ファイバによる方法とミリ波技術による方法があります。ミリ波技術による方法の場合、さらに同じエリア内でのミリ波共用の課題が、技術面にも政策面にもあります。

講演は英語のみで、通訳はつきませんが、わかりやすくお話いただく予定です。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時：平成27年2月26日（木）15時30分から17時00分まで
- 2 場 所：一般社団法人電波産業会 会議室（日土地ビル11階）
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11F
- 3 題 名：「Technology and Policy for Millimeterwave 5G and Backhaul」
英語での講演（通訳はつきません。）
- 4 講 師：元 米国連邦通信委員会（FCC）次長 マイケル・マーカス博士
- 5 対 象：ARIB正会員及び賛助会員

- 6 参加者：60名程度（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 7 申込先：当会ホームページの懇話会等開催案内よりお申込ください。
(<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 8 参加費：無料
- 9 問合せ先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2014@arib.or.jp

**第128回電波利用懇話会開催のお知らせ 2月18日開催
「ITU-Rにおけるコグニティブ無線の最新研究動向について」**

ARIBニュースNo.962で既にお知らせしましたが、第128回電波利用懇話会では、ITU-R WP5A WG5（新技術）の吉野仁議長をお迎えして、ITU-Rでのコグニティブ無線のこれまでの研究結果および最新の研究動向等についてご講演をいただきます。

残席が少なくなってきましたので、参加ご希望の方は早めにお申込みをお願いします。

記

- 1 日時：平成27年2月18日（水）14時から15時30分まで
- 2 場所：一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
- 3 題名：「ITU-Rにおけるコグニティブ無線の最新研究動向について」
- 4 講師：ITU-R WP5A WG5（新技術）議長 吉野 仁様
(ソフトバンクモバイル株式会社)
- 5 対象：ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者：60名程度（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 7 申込先：当会ホームページの懇話会等開催案内よりお申込ください。
(<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)
- 8 参加費：無料
- 9 問合せ先：企画国際部 電波利用懇話会事務局 辻道 まで
TEL: 03-5510-8592 E-mail: arib-seminar2014@arib.or.jp

ARIBの動き

**フィリピンにおける地上デジタル放送に関する規則の制定並びに
第5回日比共同作業部会及びDiBEG主催セブ・セミナーの結果について**

2013年に地上デジタルTV放送方式として日本方式（ISDB-T）の採用を再表明したフィリピンにおいて、通信・放送の規制を所管する国家電気通信委員会（NTC）が、昨年12月16日に地上デジタル放送に関する規則（IRR：Implementing Rules and Regulations）を公表

し、本年1月1日から施行されました。

フィリピンのISDB-T再表明以降、総務省においてはNTCとの間で共同作業部会を4回開催してIRRの策定に協力してきましたが、当会のデジタル放送普及活動作業班（DiBEG：議長 NEC 渡邊様）関係者も一連の共同作業部会に参画し、DiBEGにて検討した同国のISDB-T標準案の提案等の技術協力を行ってきました。

制定されたIRRでは、放送事業者が地上デジタル放送を開始するにあたっての基本的なルールを規定するとともに、同国の標準としてDiBEGが提案したISDB-T標準案を踏襲したものが規定されました。これまでのDiBEGメンバーの努力がフィリピンの地デジ化の推進に大きく寄与したと言えます。なお、規定されたISDB-T標準では、受信機仕様については別の規定によることとなっており、引き続き、DiBEGの協力が期待されるところです。

このような状況の中、IRR発効後初となる第5回日比共同作業部会が1月26日（月）マニラのNTC本部にて開催され、DiBEG関係者も参加しました。この共同作業部会では、NTCから、第4回共同作業部会以降IRRの発表を経て現在に至る取組の説明を受けるとともに、今後の各種対応等について意見交換が行われました。また、ISDB-T標準の受信機仕様については近日中にNTCにて案を作成するので、DiBEGにも照会したい旨NTCのコルドバ委員長より協力の依頼がありました。



共同作業部会後の集合写真
中央に総務省の近藤放送技術課企画官と
NTCのコルドバ委員長



NTC 玄関前にて DiBEG メンバー集合写真
後方は第5回共同作業部会を歓迎するバナー。
下部に ARIB と DiBEG のロゴがある

DiBEGにおいては、昨年1月、3月に開催された第1回、第2回共同作業部会に併せてマニラにてISDB-T標準セミナーを2回開催しました。今回も第5回共同作業部会の開催に併せ、翌1月27日（火）に、フィリピン第2の都市圏であるセブにおいて、同地域を含むフィリピン南部地方の放送関係技術者向けにISDB-Tセミナーを開催しました。

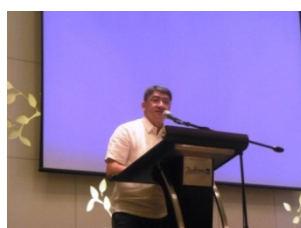
プログラムの冒頭、総務省の近藤放送技術課企画官にご挨拶をいただくとともに、マニラのNTC本部からかけつけていただいたブランコ放送課長にもご挨拶を頂戴しました。DiBEGからは13名の専門家が登壇し、ISDB-T標準体系やそのコアとなるデジタル技術を皮切りに、送信、多重化、スタジオ、受信アンテナ、データ放送、ワンセグ／電子番組表／緊急警報放送システムなどの新サービスに関する技術並びに日本の放送事業者の地デジ化での経験や現在

のサービス状況、さらにチャンネルプラン作成の一般論及び IRR 記載の免許付与条件等について講演しました。

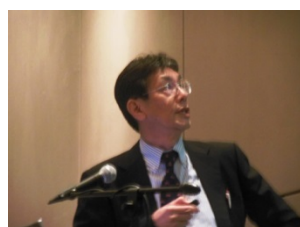
NTC には放送事業者への声掛けにもご協力いただき、本セミナーには約 130 名の方が参加されました。セミナー終了後に参加者からいただいたアンケートでは、大変好評であったとともに日本の協力に感謝する声が多数寄せられました。



総務省近藤企画官



NTC ブランコ放送課長



渡辺 DiBEG 議長(NEC)



岡野 DiBEG タスクフォース主任



ISDB-T セミナーの様子

今後 NTC から寄せられる受信機仕様の案を始めとして、DiBEG において引き続きフィリピン地デジ化への技術協力が期待されます。

第 127 回電波利用懇話会を開催
— 「2020 年代に向けた情報通信政策の在り方」に関する
情報通信審議会答申と今後の展望について—

1 月 30 日（金）に、第 127 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 事業政策課 調査官 柴山 佳徳様を講師にお迎えし「2020 年代に向けた情報通信政策の在り方」に関する情報通信審議会答申と今後の展望について」と題して、答申内容をご紹介頂くとともに、議論の内容、今後の政策展開等についてご講演いただきました。

当日は、約 70 名の会員の皆様が参加され、熱心にご聴講いただくとともに、今後のスケジュール等、活発な質疑応答が行われました。

なお、講演のプレゼンテーション資料につきましては、当会 Web サイト内「ARIB 会員のページ」の <http://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/index.html> に公開しています。



第 127 回電波利用懇話会の様子と講師の柴山様

今週の ARIB 内会合 (2月9日～2月13日)

2月12日(木) : 第214回業務委員会

今週の国際会合 (2月9日～2月13日)

2月9日(月)～14(土) : The 4th Meeting of the APT Conference Preparatory Group for WRC-15 (APG15-4) (タイ、バンコク)

編集後記

2月4日の立春が過ぎました。気象庁の1949年～2014年の66年間のデータによると、東京でその年の最低気温が、2月3日以前に観測された年は43回(約65%)、2月4日に観測された年は5回(約8%)、2月5日以降の年は18回(約27%)でした。最も遅かったのは1981年の2月27日(-3.5度)でしたので、この冬、まだ寒くなることもありそうです。(T.K.)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp